NIPPON ANTENNA

取扱説明書

UHF・UHF多方向混合システム用 UHFプリアンプ
地上デジタル放送対応

レベル差 10～20dB改善

MODEL
UPA-20

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。

⚠注意 ●入力端子･出力端子のケーブル配線および接続は確実におこなってください。（入力端子･出力端子のケーブル配線や接続方法が悪いと画像不良の原因となります。）

ポイント ●コネクターの接続は確実におこなってください。コネクターがゆるんでいると、風によるケーブルの振動などにより、コネクターがはずれることがあります。ケーブルは別売のインシュレーターでしっかり固定してください。

●付属品　防水キャップ…3個　5C接栓（リング付）…3個　取付ねじ …2本

UHFアンテナ
60cm以上離す
UHFアンテナ
インシュレーター（別売品）
プリアンプ
混合器（別売品）
ブースター（別売品）

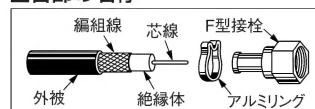
■特 長

UHF･UHFの多方向混合システムに適したプリアンプです。混合器の損失によるC／N劣化を改善するだけではなく、多方向受信でアンテナ間にレベル差がある場合でも、ブースターの入力前にレベル差を改善することができます。（改善範囲：10～20dB）

1. **入力レベル範囲が広く、低雑音設計**
   本器は入力レベル範囲が広く、ほとんどの施設で使用できる低雑音設計のUHF専用プリアンプです。
2. **利得調整器（GC）付**
   雑音指数がほとんど変わらない利得調整器（GC）が付いています。
3. **シールド構造**
   内部はシールド構造となっておりますので、電波の漏洩や飛込み防止に効果があります。

■同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称

●アルミ箔付同軸ケーブル（FB型）の場合、アルミ箔は絶縁体と同様に加工してください。

防水キャップは同軸ケーブルの太さに合わせてカットします。

防水キャップは必ず先に同軸ケーブルに通してください。

❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）

❷ 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

アルミリング

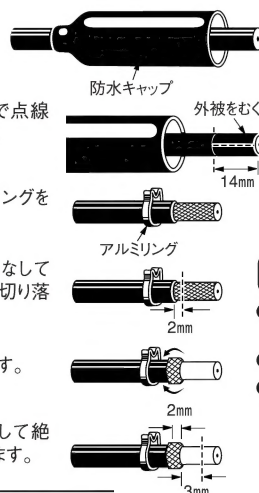
❸ 外被から2㎜程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。

❹ 編組線をめくりあげます。

2㎜

❺ 編組線から3㎜はなして絶縁体を切り、抜きとります。

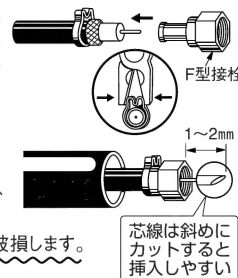
3㎜

●F型接栓締付トルク　2.5～3.0N･m（25～31kgf･cm）

❻ F型接栓を絶縁体（アルミ箔）と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。

1～2㎜

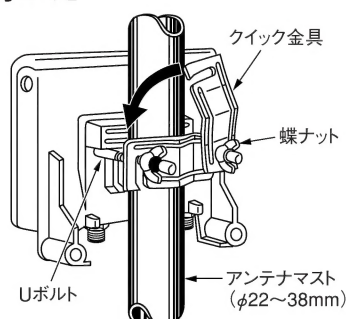
芯線が長いと接栓座を破損します。

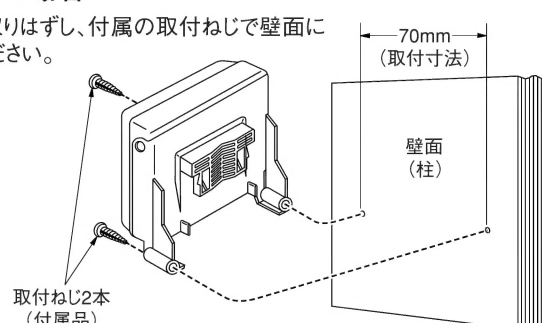
芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

ポイント
●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。
●芯線に付着物がないか確認し、ある場合には、きれいにとってください。
●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付コネクターをご使用ください。
（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

⚠注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

■プリアンプの取付かた

●マスト取付の場合

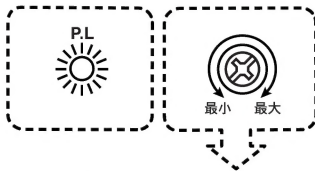
クイック金具を持上げ、マストに挿入し、再び金具をセットして蝶ナットでしっかり締付けます。

●壁面取付の場合

Uボルトを取りはずし、付属の取付ねじで壁面に固定してください。

■使用例および接続例

注意

- ●ブースター端子、テレビ端子への接続は絶対まちがえないように注意してください。故障の原因になります。
- ●使用しない空端子は、必ず空端子用キャップを付けてください。なお、本器中央の端子は、既設システムにおいて別売の専用電源抽出器を使用する時に受電する電源入力端子ですので、使用しません。

●パイロットランプについて

出力端子のケーブルから電源が重畳されていると赤色に点灯します。

●利得調整について

本器を設置しているUHFアンテナと他方向のUHFアンテナをU/U混合器で混合するとき、本器を設置しているUHFアンテナ側のテレビ電波が強すぎて、U/U混合器の出力レベルにレベル差が出る場合は、利得調整ツマミを"最小"方向へ回して利得を調整してください。(出荷時は、利得最大にセットされています。)

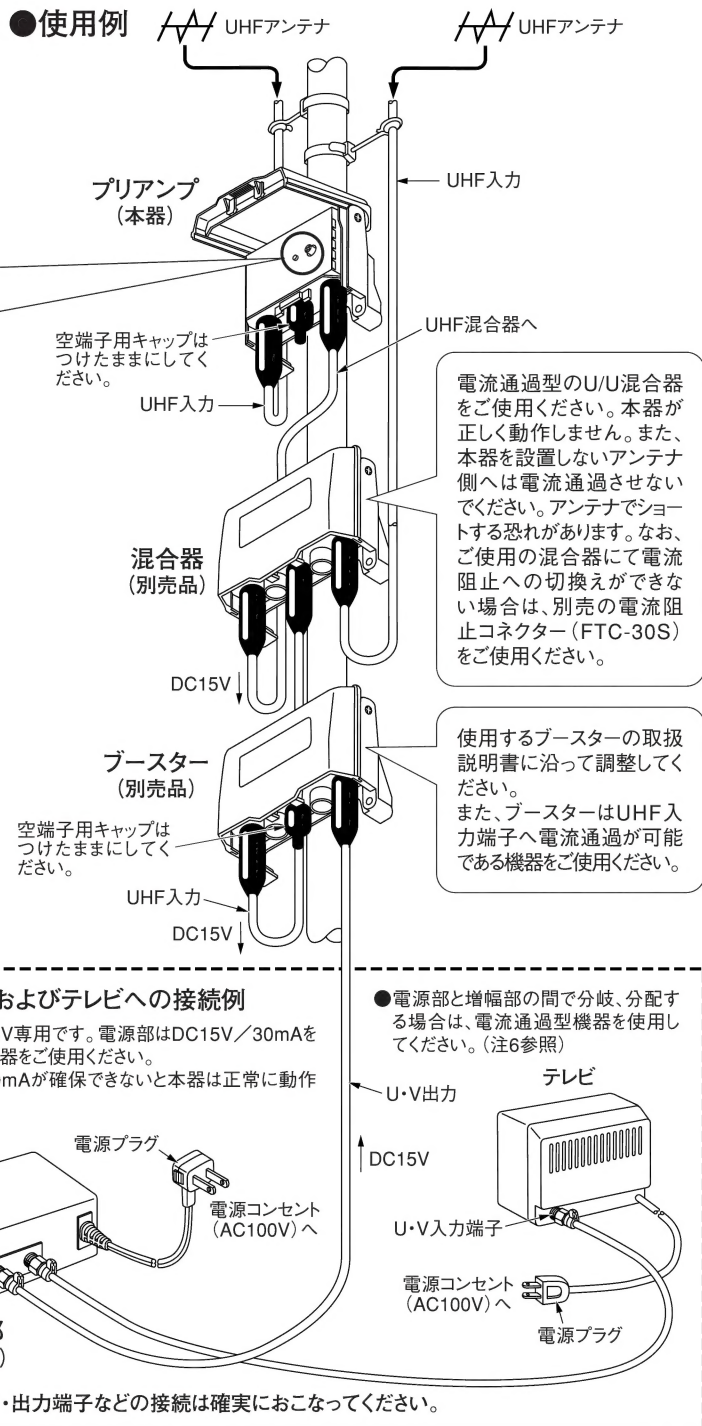
ポイント

●適正入力レベルについて

適正入力レベル範囲(dBμV)	
UHF	38〜81

適正入力レベル範囲は、アナログ・地上デジタルのチャンネル数およびレベル差などにより、多少変動があります。(上限値は2波の時)

●使用例

●入力端子・出力端子などの接続は確実におこなってください。

■標準性能表

項　目 ＼ 型　名		UPA-20
周波数帯域		UHF
受信チャンネル (ch)		13〜62
利得 (dB)		17〜22
利得調整範囲 (dB)		0〜−10(連続可変)
適正入力レベル (dBμV)		38〜81　※1
定格出力レベル (dBμV)	利得最大	103 ※2　98 ※3
	利得最小	93 ※2　88 ※3
雑音指数 (dB)		1.5〜2.8
入力・出力インピーダンス (Ω)		75(F座型)
電圧定在波比		3以下
相互変調[IM3] (dB)		−64以下(7波)
混変調 (dB)		−46以下(2波)
重畳電源 (V/mA)		DC15/30
使用温度範囲 (℃)		−10〜+40　※4
外形寸法 (mm)		高さ72.6　幅80　奥行47
質量 (g)		200

※1　2波時　　※2　アナログ2波の値
※3　アナログ7波+デジタル9波の値(デジタル−10dB運用)
※4　本体周囲温度

■使用上のご注意

デジタル放送受信について

注1　ブースター設置後、テレビ画面が映らなかったり、画面上にブロックノイズ(モザイク状の雑音)が出る場合は、以下の項目をご確認(調整して)ください。

−テレビ(チューナー)への入力レベルが低い場合−

- ●受信エリアをご確認ください。
- ●アンテナの位置、方向および高さなどを変えて、最良の画像が得られるように調整してください。

−テレビ(チューナー)への入力レベルが高い場合−

- ●ブースターの利得調整ツマミを最小方向へ回して、最良の画像が得られるように調整してください。

注2　デジタル放送受信は、電波が弱く所要C/Nが得られないとブロックノイズ(モザイク状の雑音)が出る場合があります。

注3　設置後、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらない場合や下がる場合がありますが、本器の不具合ではありません。

アナログ放送受信について

注4　ブースター設置後、テレビ画面にスノーノイズ(ザラザラ画面)や自動車等による雑音、その他雑音が出る場合はアンテナ設置の位置、方向および高さなどを変えて最良の画像が得られるように調整してください。

デジタル放送受信・アナログ放送受信について

注5　ブースター設置後、テレビ画面が映らない場合は、アンテナ給電部、入力・出力端子、分波器などの接続が確実におこなわれているか点検してください。また、同軸ケーブルのコネクター加工を点検してください。

機器の接続について

注6　電源部と増幅部の間に電流通過型ではない分岐・分配器などが接続されていると、本器は正しく動作しません。電流通過型の分岐・分配器などをご使用ください。また、分岐・分配器などの電流通過端子に接続されているかご確認ください。

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
D841011800　平成17年12月